

## 大沼参院議員、充実の初質問

## 記者席ノート

◇…自民党の大沼瑞穂参院議員(県選挙区)が5日の厚生労働委員会で、初めて質問に立った。写真。自らが1歳の長女を議員会館内の保育所に預けて活動しており、子育て世代の女性代表として議論を繰り広げた。

希望して所属した委員会。党の方針もあつて早い段階での「登板」となった。子育てについては、女性の就労環境の改善、積極的な活用にも言及し「育児休業給付は一定期間、賃金の100%にし男性の参加を促すべきだ」などと持論を展開。再三、田村憲久厚労相の考えをただした。



社会保障制度改革、介護問題も取り上げ、持ち時間の40分間、たっぷり質問。終了後、大沼氏は「予定した質問の8割は聞けた」と充実感をにじませつつ、「与党議員として遠慮があった。次はもっと突っ込んで議論したい」と述べた。